



2010年2月5日

お客さま向け資料

## 2010年2月4日のブラジル株式市場の値下がりについて

ビー・エヌ・ピー・パリバ アセットマネジメント株式会社

### 市況概況:

2010年2月4日のブラジル株式市場は、海外で株価が大きく下落した流れを受けて、ボベスパ指数終値が前日比4.7%安の63,934.01となり、3ヶ月ぶりに大幅安で引けました。

ユーロ圏ではギリシャ、ポルトガル、スペインの債務問題をめぐる懸念を背景に、株式市場から安全資産とされるドルに資金がシフトしました。

米国でも、4日に発表された1月30日までの週の米週間新規失業保険申請件数が前週比8,000件増の48万件と予想外に増加し、労働市場が依然として弱いことが示され、5日の雇用統計発表を控え懸念が高まりました。

原油価格は、ドル高、株安、米週間新規失業保険申請件数の予想外の増加などを背景に期近が急落、原油先物価格(WTI)は前日比5.0%安の1バレル=73.14米ドルまで値下がりしました。商品もCRB指数が前日比2.6%安の263.67で取引を終えました。

ボベスパ指数は指数構成63銘柄で全面安となり、出来高は78億レアル(42億米ドル)でした。

主力の資源株はペトロブラスが前日比5.1%安、ヴァーレ(リオドセ)も同5.4%安と大きく値下がりしたほか、ジェルダウ、ナショナル製鉄、ウジミナスといった鉄鋼株も大きく値を下げました。

金融株はイタウ・ユニバンコ、ブラジル銀行、ブラデスコ銀行がボベスパ指数よりも小幅な下げに留まった一方、BM&FBovespa(サンパウロ証券取引所)は売りが集中し大幅安となりました。

為替市場ではレアルが売られ、対米ドルでは1米ドル=1.88レアル、対円では1レアル=47.32円で引けました。(出所:ブルームバーグ)

### 今後の見通し:

ブラジルでは12月鉱工業生産が前年同月比で市場予想の+18.5%を上回る+18.9%となったほか、12月失業率も6.8%に低下、10月及び11月の小売売上高も前年同月比で+9.0%となりました。また、1月の消費者信頼感指数は116.4まで改善しており、ブラジルでは好調な内需を背景に景気回復が続いていると考えられます。

レアルは年初来対ドルで7.3%下落していますが、これは昨年対ドルで33.9%上昇した反動とも考えられます(レアルの対ドル騰落率はブルームバーグ公表為替レートより算出しています)。

ブラジル経済は先進国を上回る速度で世界的な景気後退から回復しており、市場では、2010年のGDP成長率を5.35%と予想しています(出所:ブラジル中央銀行、2010年1月29日現在)。

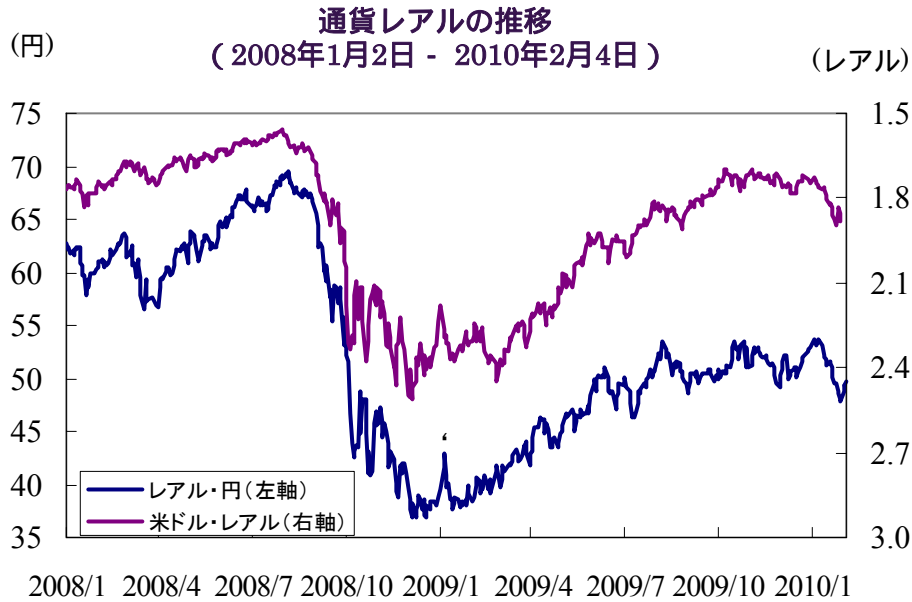
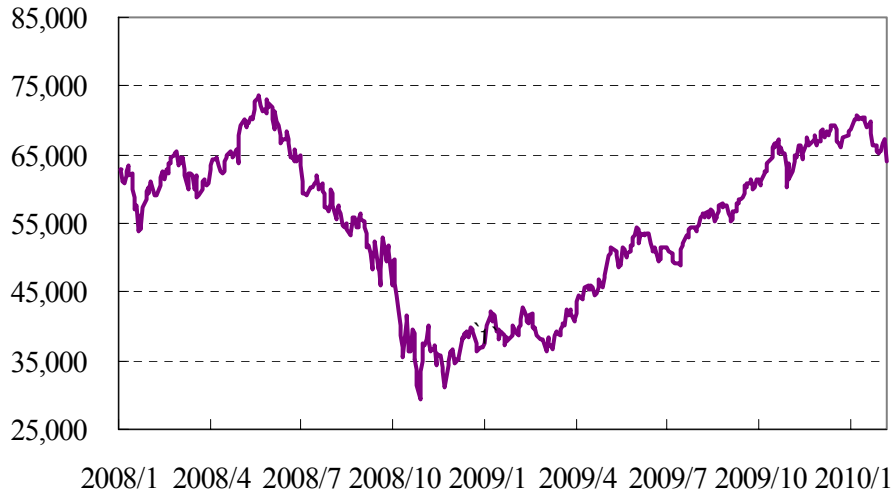
一方、インフレ率(IPCA=拡大消費者物価指数)は政府目標の4.5%近辺に留まっていますが、教育費や運輸を中心に若干上昇しつつあると考えられ、2月4日に公表されたブラジル中央銀行の1月金融政策決定会合議事録によると、内需拡大による景気回復が続く一方、インフレを懸念していることが窺えます。こうしたことから、市場ではブラジル中銀が3月ないし4月に利上げを再開するとの観測も出ています。

ボベスパ指数は2009年中82.7%上昇し、足元では利益確定の売りが出やすい環境にあるほか、対外要因による調整局面も考えられますが、これはテクニカルなもので、調整は相対的に短期に留まると予想しています。

投資家による一時的なリスク回避の動きが見られる間は値動きの荒い展開も想定されますが、中長期的なブラジル投資の魅力は高いと考えられることから、当ファンドの運用につきましては、引き続きブラジルの成長メリットを享受できる運用に努めてまいります。

【ご参考】

ボブスバ指数の推移  
(2008年1月2日 - 2010年2月4日)



出所：ブルームバーグ

本資料は、ビー・エヌ・ピー・パリバ アセットマネジメント ブラジルが作成した資料をもとに、ビー・エヌ・ピー・パリバ アセットマネジメント株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解および「BNPパリバ・ブラジルファンド」に関する情報を提供することを目的として、2010年2月5日に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。

BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型・バランス型)の主なリスクと費用は、次の通りです。

## リスクについて

当ファンドはリスク商品であり、投資元本は保証されていません。したがって、換金時に投資元本を下回ることがあります。また、収益や投資利回りなどは未確定の商品です。

### ■ 価格変動リスク

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて主にブラジルの株式や債券など値動きのある有価証券に投資します。株式の価格は政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等を反映して変動します。また、公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します(値動きの幅は、残存期間、発行体、公社債の種類等により異なります)。組入株式の価格および債券価格が下落した場合、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

### ■ 信用リスク

株式の価格は、発行企業の信用状況によっても変動する場合があります。経営不安や倒産等の重大な危機に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることがあります。また、公社債の価格も発行体の信用状況により変動します。特に、発行体が財政難、経営不安等により、利子および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合(債務不履行)、またはできなくなることが予想される場合、公社債の価格は大きく下落します(利子および償還金が支払われないこともあります)。その結果、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

### ■ 為替変動

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて外貨建資産に投資しますので、為替変動リスクを伴います。原則として為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受け、円高局面では当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ■ 流動性リスク

市場規模や取引量が少ない場合などは、本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。このような状況においては、機動的に組入銘柄を売却できないことがあります。その結果、売却価格が大きく低下し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

### ■ カントリーリスク

ファンドが主に実質的に投資する、ブラジルの証券市場などの先進国以外の国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。それらの国の経済状況は、先進国経済に比較して脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高の悪化、また、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが金融・証券市場に及ぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制など数々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更等により証券市場が著しい悪影響を被る可能性もあります。上記のような投資環境変化の内容によっては、ファンドでの新規投資の中止や大幅な縮小をする場合があります。これらの社会情勢の変化によって、当ファンドの基準価額が大きく下落する可能性があります。

### ■ 追加設定・一部解約による資金流出入に伴うリスク

ファンドの追加設定および一部解約による資金の流出入に伴い、基準価額が影響を受ける可能性があります。大量の追加設定もしくは一部解約が行われた場合、株式の売買手数料や市況もしくは取引量の影響等による市場実勢から乖離した価格での株式の組入れおよび売却を行う必要が生じると、当ファンドの基準価額はその影響を受けます。

## ■ 権利行使の制限

当ファンドは、お申込日がサンパウロ証券取引所の休業日と同一の場合には、原則として追加設定・換金のお申込みはできません。また、証券取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、追加・換金の受付が取り消しまたは中止されることがあります。

## 費用について【ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

### ■ 申込時に直接ご負担いただく費用

申込手数料 お申込日の翌営業日の基準価額に対して上限3.15% (税込)

### ■ 保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬 信託財産の純資産総額に対して年率1.785% (税込)

### ■ その他の費用

監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等

※ その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限等を示すことができません。

当ファンドの手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することが出来ません。

詳しくは、投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

商号	大和証券株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号
加入協会	日本証券業協会 社団法人 日本証券投資顧問業協会 社団法人 金融先物取引業協会

## 設定・運用は

商号	ビー・エヌ・ピー・パリバ アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第378号
加入協会	社団法人 投資信託協会 社団法人 日本証券投資顧問業協会

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会